

全地方ニハ密年八月頃ヨリ磐城炭坑株式會社所属
労働者ヲ以テ組織セル日本鉾夫組合磐城支部(加
盟者約七〇名)ヲ始メ全入山支部(加盟者約四百名)全株
原支部(約七〇名)及全小田支部(約三〇名)等ノ労働
組合アリテ近ク之等各支部ヲ網羅シテ日本鉾夫組合
常磐地方聯合會ヲ組織スベク計畫シツ、アル等ノ情
勢ニアリシモノナリ

七、爭議發生ヲ見ルニ至リシ事情

磐城炭坑株式會社小野田坑鉾夫(彼場頭)ニシテ山
吉宗(當廿五年)ナルモノアリ、予テ政治研究會磐城支部
ヲ組織シテ會費ノ指導ニ任スル等ノコトアルヲ以テ自ラソノ
職務怠慢ニ流レ易ク爲メ大正十五年三月頃一度職
首セラレントシタルモ仲裁者アリテ將來職務ニ専心スベ
クトヲ誓約シテ其事ナクシテ留レリ、

然ルニ偶々本年一月九日全炭坑健康保険組合評議
員ノ選挙ニ際シ全人ハ小野田坑區ヨリ日本鉾夫組合費ノ
應援ヲ得テ立候補シ最高点ヲ以テ當選シタルカ當時
ノ言動過激ナリトシト共ニ全人最近ノ行動ハ前記誓約ヲ